

## 奈良市中心市街地活性化協議会 会長挨拶



会長 西口廣宗

新年おめでとうございます。

奈良市中心市街地活性化協議会も本年3月で設立4年目を迎えようとしております。

昨今の景気は長引くデフレ傾向により相変わらず冷え込んでいる状況は

誰もが感じておられることと存じます。物の値段が下がると給与が下がり、給与が下がると消費を控え、するとまた物の値段を下げるといったようにデフレスパイラルという収縮傾向へといった悪循環が繰り返されます。景気によって円高問題、雇用問題などすべてが明るくもなり、暗くもなっていくわけで、今年こそは景気が上向き皆様が明るく暮らしていけるような年となってくれるよう祈念いたしております。

さて、昨年は奈良県全域で官民一体となって取り組まれた「平城遷都1300年祭」で大いに奈良は盛り上がったと感じ取っております。来場者は当初予想来場者数を大きく上回り、「せんとかん」も全国的に大変な人気を集め、また奈良の観光産業の方々も大忙しだったと嬉しい報告が私の耳にも入ってきておりました。

また奈良の中心市街地においては、5月に奈良市中心市街地活性化研究会さんが中心となって開催された「まちなか1300年祭」、事務局を当協議会が担当し、また多くの各団体との相互協力により大いに盛り上がったこと、また10月には恒例の正倉院展の来客を奈良の街の中へと誘導されるスタンプラリーに、夜の奈良の活性化として昨年初めての試みとして取り組まれ

ました「まちなかバル」も大変盛況で、このイベントにおいても当協議会が事務局として係らせていただき大変充実した年であったかと感じました。

しかし良く言われているのですが、大きな記念事業の後の本年2011年が奈良に

とって大切ではと。過去の状態にリバウンドしないよう皆が知恵を出し合い、色んなことにチャレンジしていくことが大事ではと考えております。

市の中心市街地活性化基本計画も平成20年3月に国の認定を得、5ヵ年と限られた期間に数値目標をクリアするため、各事業に日々取り組んでいただいております。

奈良市中心市街地活性化協議会といたしましても、奈良商工会議所、奈良市市街地開発株式会社を軸に、奈良市をはじめ市民の皆様や商業者ほか関係機関との連携をより一層密にして、奈良のまちづくりに可能な限り寄与して参りたいと考えております。

今年も皆様にとって、幸多い年となることを祈念申し上げますとともに、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



# 三条通ショッピングモール 「シカの白ちゃん」キャラクター(イラスト)決定

なら賑わい通信第33号(平成22年9月10日発行)にて掲載させて頂きました商店街振興組合三条通ショッピングモール(松山和央理事長)主催事業「シカの白ちゃん」キャラクター(イラスト)の選考結果が、応募者多数の中から昨年12月1日に発表され最優秀作品に懸賞金10万円が送られました。

この「シカの白ちゃん」は以前奈良公園にいた頭の上に白い毛の花冠をつけた珍しい雌シカで「白ちゃん」の愛称で親しまれていました。その白ちゃんも白ちゃんが唯一もうけた子シカも交通事故で亡くなり、三条通ショッピングモールでは奈良のシンボルロードとして現在整備が進められている三条通りを「交通安全」・「地域活性化」・「奈良の鹿愛護」の観点からこの企画・募集をされました。

松山理事長は、これからこの「シカの白ちゃん」イメージキャラクターと一緒に、三条通ショッピングモールを安全で安心してお買い物楽しんで頂けるショッピングモールとしてアピールしていきたいと話されておられました。

<http://www.nara-sanjo.jp/> より



三条通ショッピングモール  
イメージキャラクター  
シカの白ちゃん ©

## 平城遷都1300年祭の開催効果等について 第2回中間まとめ

平城遷都1300年祭の開催効果等について平城遷都1300年記念事業協会から第2回目中間報告が昨年12月1日に公表された。県内における平城遷都1300年祭への来場者数は約1,740万人。1月1日から10月末日まで県内各地でおこなわれた「巡る奈良」をテーマにした秘宝・秘仏特別開帳や地域イベント等の来場者は約1,380万人(予測値の約1.6倍)に、またメイン会場の平城宮跡会場は4月24日から11月7日までの春季・夏季・秋季フェア、並びにフェア期間外の来場者は約363万人(予測値の約1.5倍)と発表された。また平城宮跡会場への期間中全国から受入られた団体客の来場状況は16,361団体であった。1月～10月末日での来場者消費額(試算)は約967億円(平城宮跡事業4/24～10月末、県内各地1月～10月末)。

この内訳は、平城宮跡事業で約447億円、「巡る奈良」事業で約520億円となっていた。経済波及効果は平城遷都1300年祭の会期終了後、事業支出(協会・他主体)や来場者消費額をとりまとめ、年度末を目途に、経済波及効果の数値を算出・公表される予定。

この報告には他に県内各地の賑わい状況(7月～10月)、県内各地の主なイベントの集客状況、県内観光客の動向、鉄道の利用状況、メディア露出によるPR効果、「せんとくん」効果、来場者からの評価(来場者アンケートの結果より)など下記pdfファイルを参照してみてください。

<http://www.pref.nara.jp/secure/56971/shiryou.pdf>